情報処理安全確保支援士特定講習　講習情報

株式会社ラック

マルウェア解析ハンズオン入門コース

実施機関名	株式会社ラック		
講習名	マルウェア解析ハンズオン入門コース		
特定講習番号	21-005-015		
講習形態	集合形式	定員（１回あたり）	20 名
受講日数	2 日間	受講時間	13 時間
受講料	330,000（円/税込み）		

対象分野 <ITSS+（セキュリティ領域）>	主な分野	セキュリティ調査分析・研究開発	関連分野	セキュリティ統括 セキュリティ監視・運用 脆弱性診断・ペネトレーションテスト

講習内容	ウイルス対策ソフトやフォレンジック分析によって発見されたマルウェアの解析手法を学びます。 基礎的な実行形式のマルウェアの解析手法について一から習得した後、解析担当者が実務としてよくある例を基に演習を行います。 （注）コース名称「入門」ですが、あくまでマルウェア解析技術としての入門であり、ITSSでのIT系技術としてはレベル４に該当します。
具体的な到達目標	・耐解析機能を含まない、簡単なマルウェアの解析ができるようになる ・exeファイル以外のマルウェアの対応ができるようになる
修得できるスキル	・マルウェア解析基礎知識スキル ・表層解析スキル ・簡易動的解析スキル ・文書型マルウエア解析スキル ・解析環境の構築スキル
講習の理解・習得のために推奨される実務経験	IT技術全般業務（インフラ系・開発系） SOC（セキュリティ運用）要員業務 CSIRT要員（技術系）業務 情報セキュリティ関連調査研究業務
講習の理解・習得のために推奨される知識・技術	・情報処理推進機構 基本情報処理技術者試験合格程度の知識 ・情報系大学、専門学校卒業程度の知識
技術・知識の到達度の把握・測定方法	・実機による実習状況 ・総合演習の実行状況及び結果 ＊上記を総合的に講師が判断
修了認定の判断基準	100%の出席率に加え、講師が総合的に評価を行った上で修了判定を行います。 判断基準については、実機利用の演習等は「一人で完了できている」～「多少のサポートで完了」～「研修時間内にまったく出来ない」が目安。また、実機演習も含め研修全体を通して講師からの質問への対応、質問の状況など講師と補助講師が随時チェックして最終的に相対評価とします。
修了認定基準に満たない受講者への措置	新規に申込してもらい再度受講してもらう措置となります。
受講者に対するサポート体制	講義内各段階において懸念のある受講者に対し、講師と補助講師で適時認識合わせを実施します。その上で補助講師が個別にサポートを手厚くしていきます。また、研修終了後の学習方法などもアドバイスしていきます。
講習実施施設所在地	東京都千代田区平河町2-16-1　平河町森タワー　株式会社ラック本社
ホームページ	https://www.lac.co.jp/service/education/malware.html